

# 東京都ひとり親家庭自立支援計画 のために

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長

赤石千衣子

しんぐるまざあず・ふぉーらむの活動

# ママが元気になれば子どもたちもしあわせに

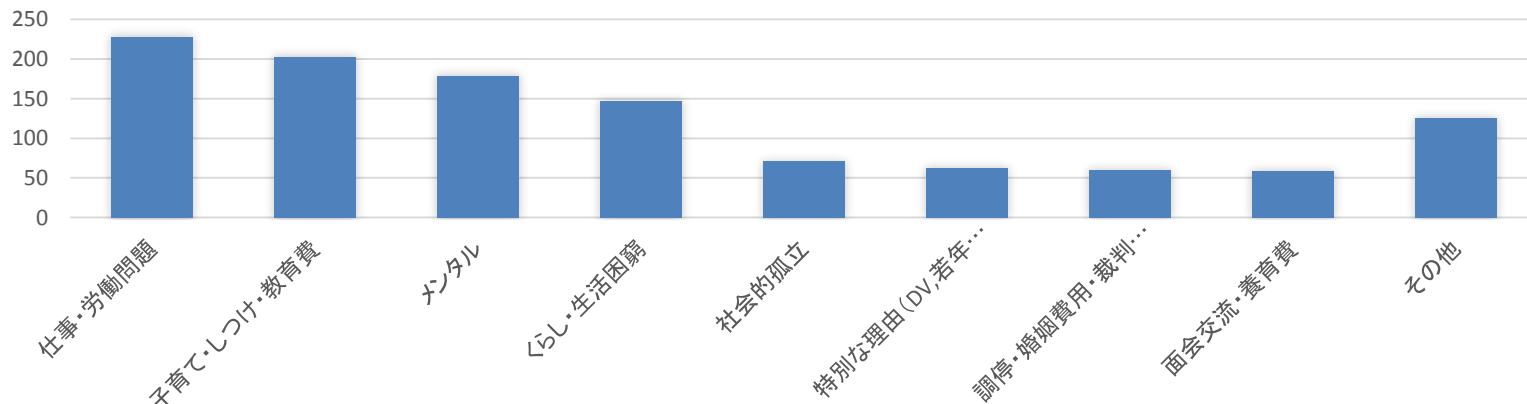
- 会員数(無料メルマガ会員2100)
- 就労支援
- 電話相談・グループ相談会
- セミナー
- ひとり親新聞Smoms発行
- 入学お祝金事業ほか



# SMFの電話相談の内容(年間600件)

仕事・労働問題	子育て・しつけ・教育費	メンタル	くらし・生活困窮	社会的孤立	特別な理由(DV,若年出産など)	調停・婚姻費用・裁判等法的問題	面会交流・養育費	その他
228	203	179	147	71	63	60	59	126

相談内容内訳



# SMF電話相談等から見えてくること

- 公共交通機関の発達により、他自治体よりは生活保護が受けやすい
- DV被害後の生活保護受給の長期化（ストレングス視点、エンパワメント支援が不足の印象）
- 子ども食堂、フードバンク、学習支援などの民間支援が比較的多いがソーシャルワークが不足
- 保育所入所が困難、孤立と困窮
- 病児保育、ひとり親ホームヘルプサービスの不足、使いにくい
- 別居中の孤立、困難、対応する施策がない

# パーソナルサポート

- 生活保護受給者、周困とトラブル(食の支援)
- 若年出産の支援
- 家庭内暴力から避難(緊急支援金提供)
- 離婚前からの支援(経済的な支援、住宅支援、保育所等)の必要
- 就労支援(2019年度、シッター支援の予定)

# グループ相談会の開催

- 「自分ひとりではなかったんだ」⇒自己肯定
- 先行く仲間の話を聞く⇒これからの見通しが立つ
- 自分の経験（失敗も）役に立つ⇒さらにエンパワー
- 居場所がある⇒不安の解消

## ☆安心安全のルール

ここで聞いたことは他では話さない  
言いたくないことは話さなくていい  
呼ばれたい名前を名乗る  
時間はみんなでシェアする  
他の人の話を批判したりさげすんだりしない  
宗教、政治、ビジネスにこのつながりを利用しない  
ファシリテーターは研修を受けた当事者



# シングルマザーキャリア支援プログラム



ママが元気になれば子どもも幸せになれる！

## シングルマザー キャリア支援プログラム

受講生募集！

応募締め切り 9月30日

申し込みは  
こちら

あなたがより安定した仕事に就けるよう  
多彩なプログラムと就業の機会  
を提供いたします。

# 未来への扉概要



社会的課題に対応：日本では7人に1人の子どもが相対的貧困の状態にあり、ひとり親家庭の半数が貧困である

- シングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」は、美容部員またはプロジェクトリーダー/オフィスワークなどの就労機会につながるよう講座を提供
- NPOしんぐるまざあず・ふぉーらむ、アデコ株式会社、株式会社iDAと連携
- 第二期から東京都庁の後援を受ける
- 約100名が修了：日本ロレアル美容部員、アデコ正社員として業務委託先などで就労



×

Adecco

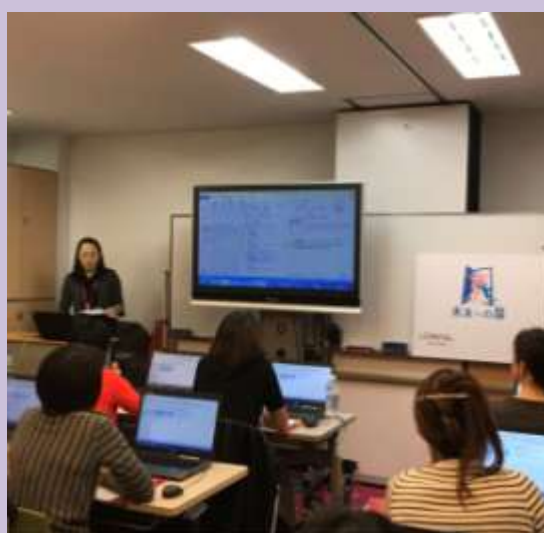
×

Activate Power of Fashion





# 講座の様子



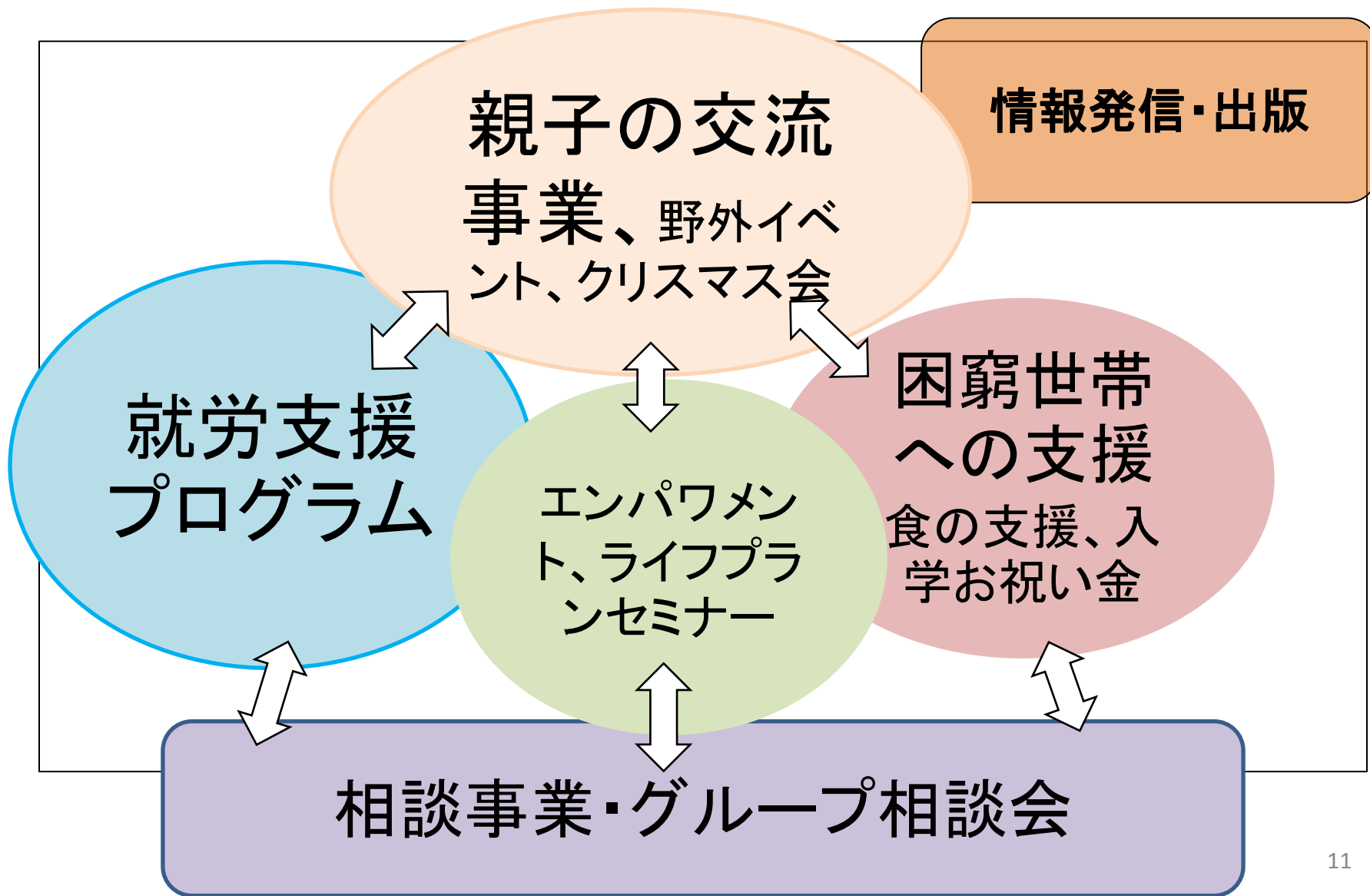
# 新入学お祝金事業

- 小学校・中学・高校・大学等に進学する子どもたちへ3万円(高校入学は4万円)お祝金を支給
- 2019年入学の申込みは1262人。794人に送金(うち212人が東京都在住)

通知がくるまで祈るばかりでした。通知が来た時、泣きました。「お母さん、よかったね」と心から喜んでいました。(中学校入学)



# まとめ：しんぐるまざあず・ふおーらむの活動



# 東京都のひとり親①

- 母子世帯 9割、父子世帯1割
- 離婚75.3%、非婚・未婚が10% (全国調査より多い)
- 同居親族がいない世帯が8割 → 家族支援が得られにくい
- 子ども1人が5割
- 年齢 母子 最も多い年齢階層は40～44歳  
父子 45～49歳
- 住宅 持ち家 41.1%、借家賃貸 58.2%  
→ 家賃負担が大きい

## 東京都のひとり親②

- 就業率 9割 正規職員割合は4割弱
- ひとり親になったとき30～39歳が5割、1番下の子どもの年齢が「3歳未満」4割 仕事と子育ての両立の困難
- ひとり親になった理由は離婚7割、ただし、30代未満の母は「非婚・未婚」が4割
- ひとり親の困りごと「家計」、「仕事」、「子どもの教育等」。父子世帯は「子供の世話」

以上平成29年度「東京の子供と家庭」報告書

# 無業母子世帯母は半数が抑うつ状態



- 母子世帯の母親、とくに無業母子世帯は健康状態が悪い。無業母子世帯の6割弱は、自分の健康状態が「(あまり)良くない」と回答しており、**2人に1人(53.4%)に抑うつの傾向がある。**

<http://www.jil.go.jp/press/documents/20170914.pdf>

# 悩んでいること(SMF入会時)

- 離婚の手続き・調停など 209人
- 仕事探し 469人
- 仕事のストレス 269人
- 保育園に入れたい 59人
- 子育てが大変である 530人
- 病気/健康の不安 505人
- 面会交流・養育費の悩み 393人
- なかまがほしい 651人  
(会員約2000人中)

# 仕事と子育ての両立の困難

仕事のブラ  
ンクがある  
から不安

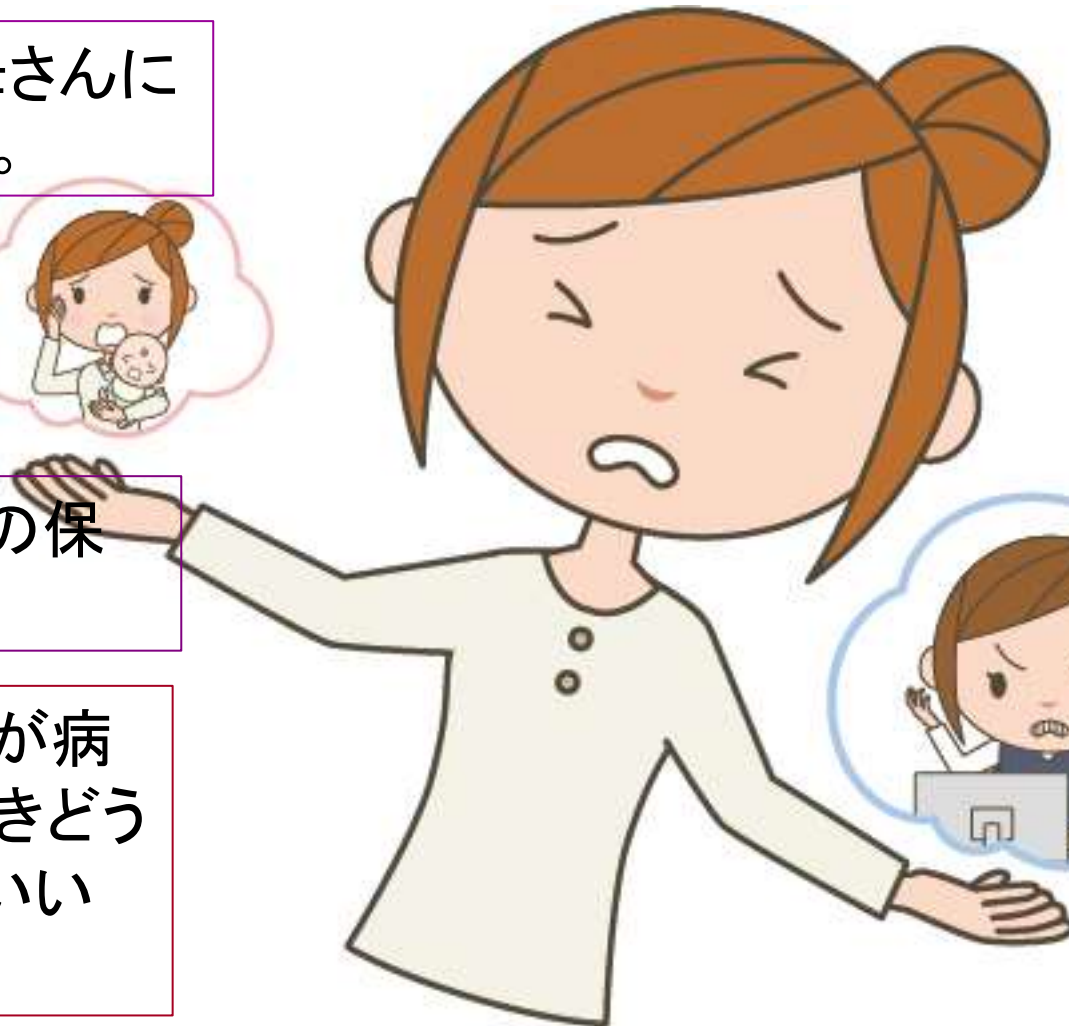
正社員にな  
りたいけど  
長時間働け  
ない

いいお母さんにな  
りたい。



子どもの保  
育は

子どもが病  
気のと看ど  
したらいい  
の？



子どもの教  
育費を準備  
しないと



# 子育てを助けてくれる 制度や人が不足

親族(子どもの  
の祖父母)

友人、ママ友

子どもの  
父親?

ご近所

保育園の延長保育

ファミリーサ  
ポート

ひとりホームヘル  
プサービス

ショートステイ

病児・病後児保育

民間のベビーシッター

HELP!

母子生活支援施設



# 非正規の罨 (就労支援の面談から)

- キャリア相談を受けている人は少なく、自己理解 (自分の適性や能力) がない、労働市場の動向も知らなく、手近の仕事に就く傾向がある
- ビジネスマナーなどを習得していないため、自信がない。
- パソコンが得意でないため避けている。
- 40代になって仕事がないと思い込んでいる。

例 近所の量販店のパート、倉庫の発送業務、工場の勤務など

# 自営業の罨 (就労支援の面談から)

- エステサロン、ネイルなどの自営業
- 自分の希望する時間で働けると聞いて入るが、実際は夜や土日が多く、待機時間もあるので思うように収入が得られない。
- ネットワークビジネスに巻き込まれやすい

# シングルマザー向け就労支援 に必要なこと

- スキルアップの講座はかなりあるが、それだけでなく、エンパワメントが起こるような講座が必要。問題解決力が培われる。
- 仕事と子育ての両立支援が必要。
- キャリア相談、暮らし含めた総合的な相談が必要。
- 子ども中心から仕事へのマインドセットが必要。
- スキルアップのために背中を押してくれる支援が必要。

# 特に仕事と子育ての両立支援

- 保育園に入園できない人が多い
  - 残業対応ができず非正規に
  - 子どもが病気のときの対応ができない
  - 子どもが幼いときにパートで非正規で家の近くで働いており、そのまま非正規で長く働いてしまう
- ファミリーサポートの減免や

ひとり親ホームヘルプサービスを通常の残業でも対応できるようにすることが重要。

# そのほかの必要なこと

- 慎重かつ安全な面会交流支援の必要。DV被害、虐待などの評価。
- 高卒認定試験受験支援制度利用を後押しをする応援の必要
- 別居中など離婚前の住・保育・職の支援
- 不登校などの子どもの多様な進学先の周知
- 情報周知の多様な方法（メルマガ、SNS、LINE等）の検討
- すべてに必要なのは「受援力」